公表資料

麻績村
橋梁長寿命化修繕計画

（第３期）



村道高畑野口線　野口橋

令和６年（2024 年）　３月

麻績村　振興課

麻績村　道路橋長寿命化修繕計画　目次

§1.　長寿命化修繕計画の目的 1
§2.　健全度の把握 3
§3.　長寿命化修繕計画の対象橋梁 5
§4.　修繕等措置の着手状況 9
§5.　対象橋梁の長寿命化とコスト縮減に関する基本的な方針 13
§6.　長寿命化修繕計画による効果 16
§7.　新技術等の活用方針 17
§8.　集約化・撤去、機能縮小に関する方針 21
§9.　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期 23

§1.　長寿命化修繕計画の目的

1)　背景

麻績村が管理する道路橋は、令和5年（2023年）12月1日現在で118橋あります。（ただし、橋長2m未満除く）

一般的に、建設されてから50年以上経過した橋梁は、高齢化橋梁と言われます。麻績村が管理する道路橋は、高度経済成長期（1960～70年代）に建設されたものが多く、2024年現在、高齢化橋梁は86橋あり、全体の73%を占めます。これが、10年後には100橋となり、8割以上の橋梁が高齢化となります。

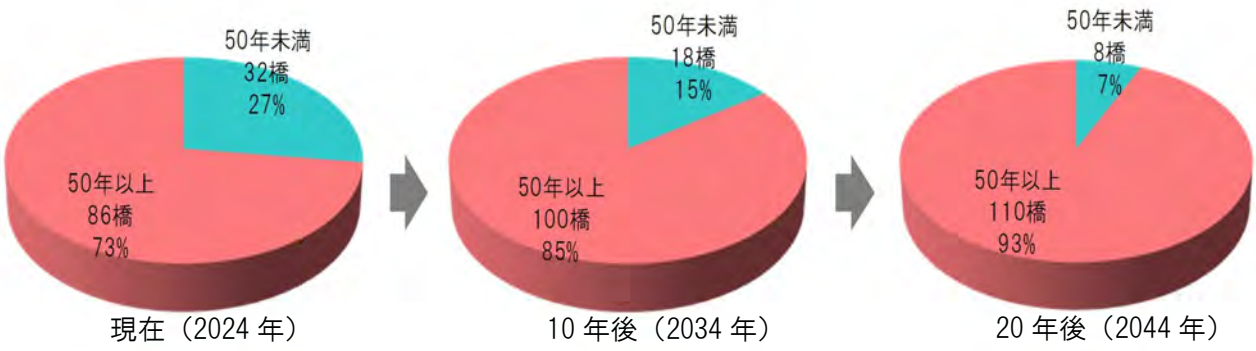


図 1.1　道路橋の経過年推移

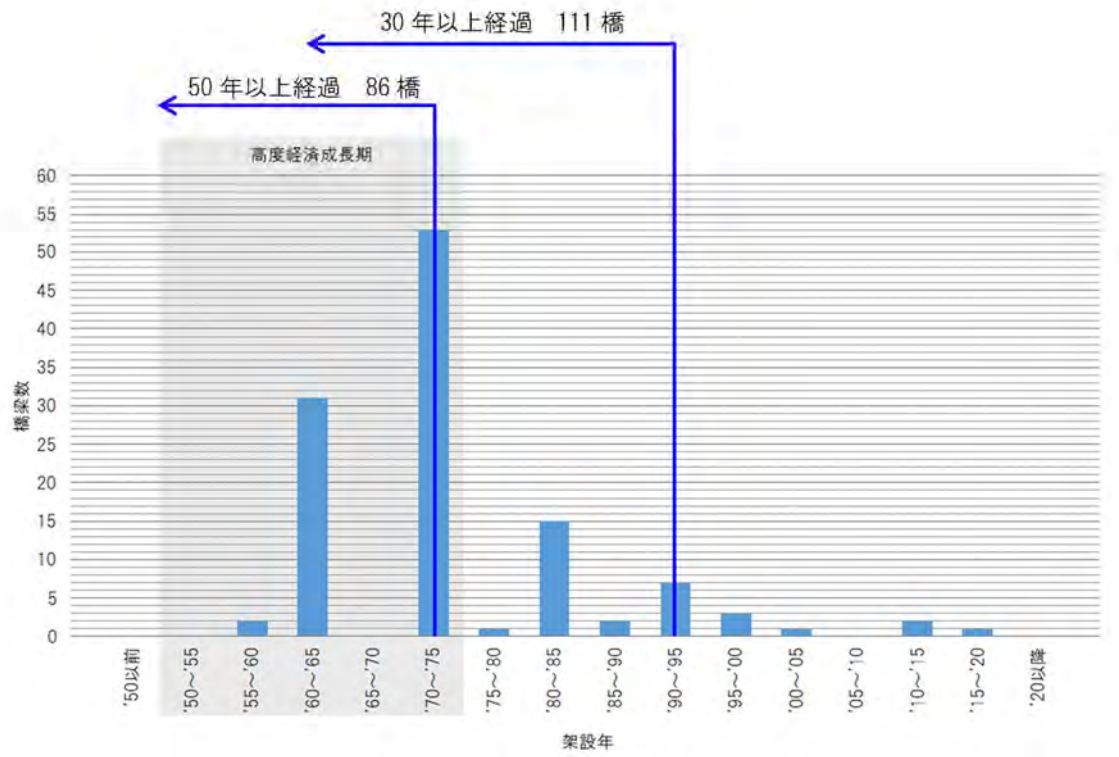
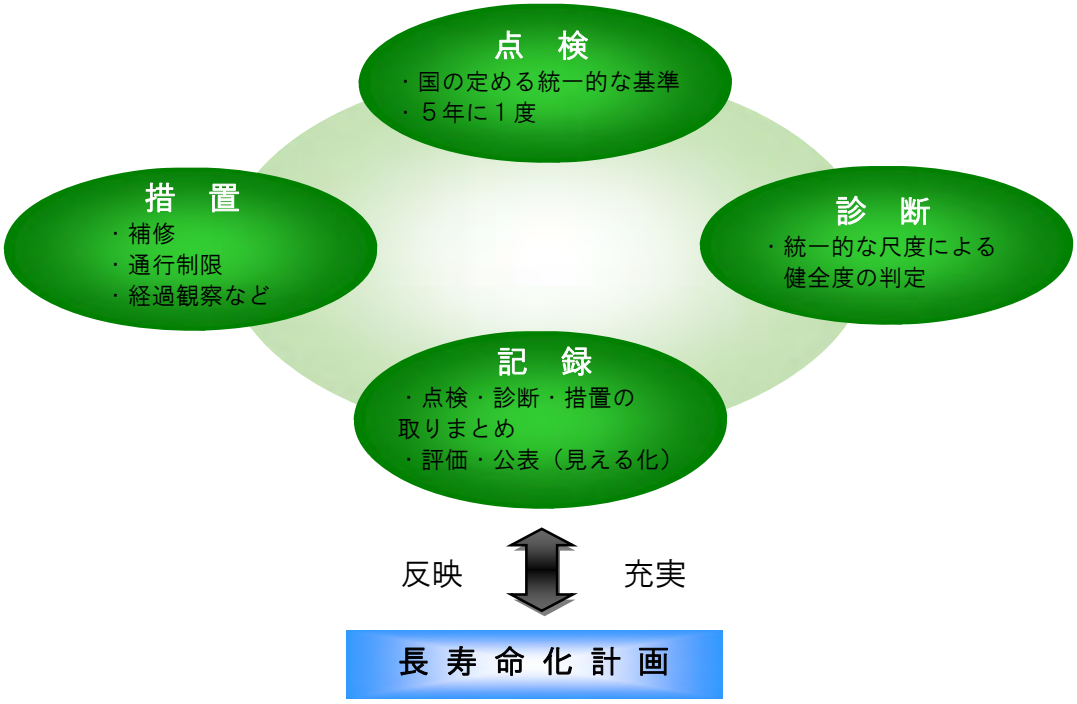


図 1.2　架設年別橋梁数

2) 目的

既設構造物のメンテナンスに対し世論の関心が高くなってきている現在、財政状況に制約がある中で、今後増大する橋梁の高齢化・老朽化に対し、効率的かつ合理的に維持管理を実施していくことが強く求められています。

そこで「橋梁長寿命化修繕計画」の策定により、理想的な維持管理体制の実現を目指します。



【出典：国土交通省公表資料】

3) 老朽化対策の基本方針

麻績村では定期点検による状態把握を行うとともに、健全性が損なわれている橋は[補修工事]を基本とした対策により、健全性の回復に努めます。

ただし、例えば大きく損傷した小規模橋梁等では、[補修工事]に比べ[架替工事]が安価となる場合があります。そのような場合には[架替工事]を採用するなど、よりコスト縮減が可能な方法で橋の健全性及び交通網の安全性確保に努めます。

上記を実現するため、麻績村では平成24年度(2012年度)に第1期計画を策定してから、現在に至るまで計画的に維持管理を実施してきました。今回策定する第3期計画では、令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)に実施した近接目視による橋梁定期点検の結果に基づき、第2期計画の見直しを行い、引き続き計画的かつ効率的な橋梁の維持管理を実施していきます。

4) 計画期間

第3期計画では、令和6年4月～令和11年3月の5年における具体的な維持管理計画を策定します。

§2.　健全度の把握

1)　損傷状況の把握の手法

第1期計画以前は、重大な損傷が生じてから対策を講じる「対症療法的」な修繕及び架け替えを行っていました。

しかし、今後急速に増大する橋梁の高齢化・老朽化に伴い、増大する維持管理費や高まる安全性への懸念に対応するためには、計画的な維持管理体制の確立が必要です。

そのためにはまず、橋梁の現状を把握することが重要となります。

麻績村では、**「長野県　道路橋定期点検要領」**を用いた橋梁点検を、令和5年度までに全管理橋梁118橋に対して実施しました。

第3期計画では、この定期点検結果を用いて計画の策定を行います。

「長野県　道路橋定期点検要領」とは

平成25年6月に道路法が改正され、平成26年6月には国土交通省より「道路橋定期点検要領」が作成・通知され、5年に1回の「近接目視点検」が義務化されました。

「長野県　道路橋定期点検要領」（令和元年 10 月）は、「道路橋定期点検要領」に基づいて長野県　建設部が整備した点検要領です。



2)　判定方法

橋梁定期点検では、橋梁の部材毎、またその部材に生じている損傷の種類ごとに以下の4段階にて判定を行います。

区分		状態(定義)	措置の考え方
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障を生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態。

【出典：長野県　道路橋定期点検要領　令和元年 10 月（長野県　建設部　道路管理課）p.7】

3) 健全性の判定区分の割合

直近における定期点検結果を以下に示します。

直近点検（2021～2023年度実施）	
Ⅰ （健全）	9橋
Ⅱ （予防保全段階）	101橋
Ⅲ （早期措置段階）	8橋
Ⅳ （緊急措置段階）	0橋
合計	118橋

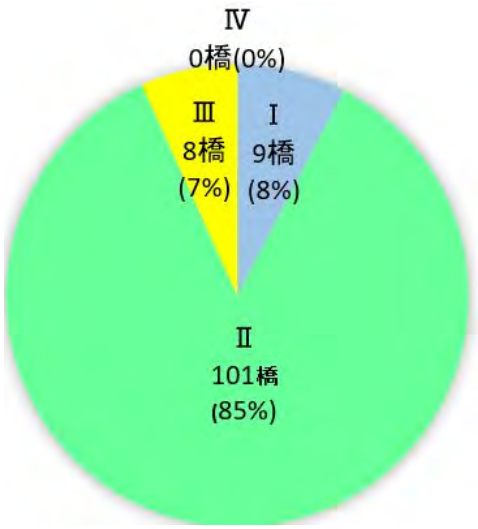


図 2.1 健全性の判定区分の割合

§3.　長寿命化修繕計画の対象橋梁

第2期計画では、全管理橋梁である118橋に対して計画策定を行っており、第3期計画も全管理橋梁である118橋に対して計画策定を行いました。

対象橋梁一覧を次ページに示します。

表 3.1 計画対象施設一覧 (1/3)

	橋名	路線		橋長 (m)	全幅員 (m)	径間	橋梁種別	架設年	交差物件		所在地	措置	備考
		種別	名称										
1	藤瀬橋	1級	桑山中央線	20.3	4.6	1	鋼橋	1991	河川	麻績川	麻績村	修繕	
2	高畑野口線1号橋	1級	高畑野口線	6.5	4.7	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
3	矢倉橋	1級	高畑野口線	20.4	4.8	2	鋼橋	1984	河川	麻績川	麻績村	修繕	
4	野口橋	1級	高畑野口線	35.7	6.2	1	鋼橋	2015	河川	麻績川	麻績村	修繕	
5	梶浦中央線1号橋	2級	梶浦中央線	5.2	3.3	1	RC橋	1962	河川	宮川	麻績村	修繕	
6	市野川円明線1号橋	2級	市野川円明線	3.4	4.4	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
7	北山線1号橋	2級	北山線	2.9	5.5	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
8	坊平線１号橋	2級	坊平線	3.3	8.1	1	RC溝橋	1962	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
9	麻績大橋	2級	下井堀青柳線	26.1	7.7	1	鋼橋	1985	河川	麻績川	麻績村	修繕	
10	西ノ久保手取線1号橋	2級	西ノ久保手取線	3.1	20	1	RC溝橋	2016	河川	東沢	麻績村	修繕	
11	西ノ久保桂線1号橋	2級	西ノ久保桂線	5.9	3.32	1	RC橋	1980	河川	桂川	麻績村	修繕	
12	西ノ久保桂線2号橋	2級	西野久保桂線	6.1	5.5	1	RC橋	1980	河川	桂川	麻績村	修繕	
13	桑関野間線1号橋	2級	桑関野間線	7.1	4.4	1	PC橋	1965	河川	市後川	麻績村	修繕	
14	麻下60号1号橋	2級	麻下60号線	4.5	2.4	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
15	麻女5号1号橋		麻女5号線	2.2	3.55	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
16	麻女13号1号橋		麻女13号線	21.4	2.4	2	PC橋	1963	河川	麻績川	麻績村	修繕	
17	麻女13号2号橋		麻女13号線	3.5	4.6	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
18	麻野19号1号橋		麻野19号線	4.2	3.2	1	PC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
19	矢倉七号橋		麻矢10号線	6.5	4.8	1	RC橋	1981	河川	室沢川	麻績村	修繕	
20	室沢1号橋		麻矢10号線	10.1	4.3	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
21	室沢2号橋		麻矢10号線	10.0	4.3	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
22	麻矢10号4号橋		麻矢10号線	5.3	4.3	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
23	麻矢10号5号橋		麻矢10号線	12.5	4	1	PC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
24	麻矢12号1号橋		麻矢12号線	10.5	3.1	2	鋼橋	2006	河川	室沢川	麻績村	修繕	
25	麻矢13号1号橋		麻矢13号線	6.1	5	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
26	麻矢14号1号橋		麻矢14号線	5.9	4.6	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
27	麻矢15号1号橋		麻矢15号線	6.0	4.8	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
28	麻矢16号1号橋		麻矢16号線	6.0	5	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
29	麻矢23号1号橋		麻矢23号線	7.3	1.3	1	鋼橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
30	麻高1号1号橋		麻高1号線	6.6	3.4	1	RC橋	1962	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
31	地蔵川原橋		麻高1号線	22.5	4.5	1	鋼橋	1983	河川	麻績川	麻績村	修繕	
32	麻高2号1号橋		麻高2号線	7.0	3.6	1	RC橋	1981	河川	用水路	麻績村	修繕	
33	麻明13号1号橋		麻明13号線	3.9	5.4	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
34	麻明15号1号橋		麻明15号線	3.5	9.6	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
35	川原橋		麻明15号線	22.5	3.2	2	PC橋	1990	河川	麻績川	麻績村	修繕	
36	麻高4号1号橋		麻高4号線	6.4	3.1	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
37	麻下10号1号橋		麻下10号線	5.4	2.75	1	鋼橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
38	麻野11の1号橋		麻野11号線	2.9	3	1	RC橋	2000	河川	用水路	麻績村	修繕	
39	麻砂11号2号橋		麻砂11号線	18.4	3.1	2	PC橋	1973	河川	麻績川	麻績村	修繕	
40	如来堂橋		麻砂11号線	25.5	3.5	1	鋼橋	1994	河川	麻績川	麻績村	修繕	
41	麻下14号1号橋		麻下14号線	4.5	3.3	1	RC橋	1981	河川	吉田川	麻績村	修繕	
42	麻下50号1号橋		麻下50号線	6.7	4	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
43	麻根14号1号橋		麻根14号線	8.2	5.7	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
44	麻根14号2号橋		麻根14号線	7.7	7.2	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
45	室沢3号橋		麻矢37号線	7.2	5	1	RC橋	1972	河川	室沢川	麻績村	修繕	
46	麻根1号1号橋		麻根1号線	4.2	4.2	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
47	麻根1号2号線		麻根1号線	3.6	3.6	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
48	麻根4号1号橋		麻根4号線	4.6	4.4	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
49	麻根8号1号橋		麻根8号線	5.0	3	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
50	日丸13号1号橋		日丸13号線	5.8	4.2	1	RC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
51	日丸13号2号橋		日丸13号線	5.4	4.1	1	RC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
52	日丸15号1号橋		日丸15号線	6.4	3.4	1	RC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
53	麻下1号1号橋		麻下1号線	5.6	4.4	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
54	麻根9号1号橋		麻根9号線	4.8	3.5	1	RC溝橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	

表 3.2 計画対象施設一覧 (2/3)

	橋名	路線		橋長 (m)	全幅員 (m)	径間	橋梁種別	架設年	交差物件		所在地	措置	備考
		種別	名称										
55	麻下65号1号橋		麻下65号線	4	4.3	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
56	日丸18号1号橋		日丸18号線	4.5	5.8	1	RC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
57	日丸23号1号橋		日丸23号線	2.7	2.3	1	RC橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
58	日上15号1号橋		日上15号線	4.65	3.5	1	RC橋	1972	河川	用水路	麻績村	修繕	
59	麻上7号1号橋		麻上7号線	8	2.3	1	鋼橋（木床版）	1962	河川	西沢川	麻績村	架替	
60	麻上9号1号橋		麻上9号線	4	1.6	1	RC橋	1962	河川	西沢川	麻績村	修繕	
61	麻上10号1号橋		麻上10号線	4.7	4.4	1	RC橋	1962	河川	西沢川	麻績村	修繕	
62	麻下6号1号橋		麻下6号線	5	2.5	1	鋼橋	1962	河川	吉田川	麻績村	修繕	
63	麻下18号1号橋		麻下18号線	12.5	4.8	1	PC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	
64	麻上16号1号橋		麻上16号線	7.3	2.3	1	鋼橋（木床版）	1962	河川	西沢川	麻績村	架替	
65	麻上18号1号橋		麻上18号線	5.4	2.7	1	RC橋	1962	河川	西沢川	麻績村	修繕	
66	麻上20号1号橋		麻上20号線	7.8	3.4	1	RC橋	1962	河川	西沢川	麻績村	修繕	
67	麻上22号1号橋		麻上22号線	5.4	2.2	1	木橋	1972	河川	西沢川	麻績村	架替	
68	麻市1号1号橋		麻市1号線	10.6	4.2	1	RC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
69	麻市4号1号橋		麻市4号線	4.3	3.9	1	鋼橋	1962	河川	宮川	麻績村	修繕	
70	麻市5号1号橋		麻市5号線	5.2	2.8	1	鋼橋	1991	河川	宮川	麻績村	修繕	
71	麻市9号1号橋		麻市9号線	11.2	3.3	1	RC橋	1991	道路	国道403号線	麻績村	修繕	
72	麻市17号1号橋		麻市17号線	3.8	7	1	RC橋	1962	河川	夜船沢	麻績村	修繕	
73	麻市19号1号橋		麻市19号線	6.3	3.8	1	RC橋	2012	河川	夜船沢	麻績村	修繕	
74	聖支線56号1号橋		聖支線56号線	5.1	3	1	木橋	2001	河川	聖湖	麻績村	架替	
75	麻市26号1号橋		麻市26号線	4.8	4.4	1	RC橋	1972	河川	夜船沢	麻績村	修繕	
76	麻北4号1号橋		麻北4号線	5.8	2.1	1	鋼橋	1972	河川	西沢川	麻績村	修繕	
77	麻梶1号1号橋		麻梶1号線	6.2	3	1	RC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
78	麻宮23号1号橋		麻宮23号線	11.1	5.8	1	PC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
79	日野田沢5号1号橋		日野田沢5号線	3.2	3	1	RC橋	1961	河川	東沢	麻績村	架替	
80	日桑山1号1号橋		日桑山1号線	5.5	4.1	1	RC橋	1962	河川	東沢	麻績村	修繕	
81	日桑山2の1号橋		日桑山2号線	7.4	6.2	1	RC橋	1996	河川	桂川	麻績村	修繕	
82	日桑山9号1号橋		日桑山9号線	4.6	2.8	1	RC橋	1962	河川	東沢	麻績村	修繕	
83	日桑山13号1号橋		日桑山13号線	6.1	4.4	1	RC橋	1962	河川	桂川	麻績村	修繕	
84	日桑山21号1号橋		日桑山21号線	6.4	3.8	1	RC橋	1972	河川	東沢	麻績村	修繕	
85	日桑山23号1号橋		日桑山23号線	3.1	1.7	1	RC橋	1962	河川	桂川	麻績村	修繕	
86	日桑山30号1号橋		日桑山30号線	4.2	2.2	1	RC橋	1962	河川	東沢	麻績村	修繕	
87	麻本11号1号橋		麻本11号線	5.4	4.5	1	RC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
88	日小東1号1号橋		日小東1号線	6.4	3.8	1	RC橋	1981	河川	東沢	麻績村	修繕	
89	麻宮1号1号橋		麻宮1号線	4.6	3.9～4.6	1	RC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
90	麻宮2号1号橋		麻宮2号線	5.9	2.4	1	RC橋	1962	河川	宮川	麻績村	修繕	
91	麻宮3号1号橋		麻宮3号線	5.6	2	1	RC橋	1962	河川	宮川	麻績村	修繕	
92	宮古橋		麻宮15号線	24.7	4.8	2	PC橋	1993	河川	麻績川	麻績村	修繕	
93	日高23号1号橋		日高23号線	6.6	1	1	鋼橋	1981	河川	用水路	麻績村	修繕	
94	日桑関4号1号橋		日桑関4号線	6.7	2.8	1	鋼橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
95	日桑関6の1号橋		日桑関21号線	8.7	4.4	1	RC橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
96	日桑関7号1号橋		日桑関22号線	11.1	4.3	1	PC橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
97	日桑関13号1号橋		日桑関13号線	4.2	4.5	1	RC橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
98	日桑関14号1号橋		日桑関14号線	12	3.8	1	RC橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
99	坊平大沼線1号橋		坊平大沼線	3.8	8	1	RC溝橋	1990	河川	大沢	麻績村	修繕	
100	麻仲1号1号橋		麻仲1号線	8.2	1.5	1	鋼橋	1962	河川	用水路	麻績村	修繕	
101	日下3号1号橋		日下3号線	21.20	1.5	3	鋼橋	1980	河川	麻績川	麻績村	修繕	
102	日桑山16号線橋		日桑山16号線	4.90	3	1	RC橋	1972	河川	東沢	麻績村	修繕	
103	若林橋		麻野8号線	33.60	5.5	1	PC橋	1992	道路	長野自動車道	麻績村	修繕	
104	川窪橋		麻上24号線	28.70	6.2	2	PC橋	1990	河川	麻績川	麻績村	修繕	
105	麻野3号1号橋		麻野3号線	7.00	5	1	RC橋	1981	河川	麻績川	麻績村	修繕	
106	長野道側道1号1号橋		長野道側道1号線	7.70	3.6	1	RC橋	1981	河川	用水路	麻績村	修繕	
107	長野道側道2号1号橋		長野道側道2号線	8.20	5.4	1	RC橋	1981	河川	用水路	麻績村	修繕	
108	長野道側道9号1号橋		長野道側道9号線	4.20	3.3	1	RC橋	1981	河川	用水路	麻績村	修繕	

表 3.3 計画対象施設一覧 (3/3)

	橋名	路線		橋長 (m)	全幅員 (m)	径間	橋梁種別	架設年	交差物件		所在地	措置	備考
		種別	名称										
109	下井堀橋		長野道側道12号線	34.10	5.2	2	PC橋	1989	河川	麻績川	麻績村	修繕	
110	日桑山43号1号橋		日桑山43号線	6.40	3.8	1	RC橋	1981	河川	東沢	麻績村	修繕	
111	北山2号橋		麻北21号線	7.40	7.64	1	RC橋	1998	河川	宮川	麻績村	修繕	
112	北山3号橋		麻北21号線	7.00	7.6	1	RC橋	1998	河川	地獄谷沢	麻績村	修繕	
113	麻高11号線橋		麻高11号線	21.80	1.82	1	鋼橋	1983	河川	麻績川	麻績村	修繕	
114	麻市46号線橋		麻市46号線	9.20	4.2	1	RC橋	1972	河川	宮川	麻績村	修繕	
115	日桑関16の1号橋		日桑関16号線	4.10	5.4	1	RC橋	1972	河川	市後川	麻績村	修繕	
116	麻坊6の1号橋		麻坊6号線	6.40	4	1	鋼橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
117	麻根22号1号橋		麻根22号線	4.60	4.2	1	RC橋	1972	河川	芦沢川	麻績村	修繕	
118	日丸21号線橋		日丸21号線	5.30	3.4	1	RC橋	1972	河川	吉田川	麻績村	修繕	

§4.　修繕等措置の着手状況

下図には、前回計画策定以降におけるメンテナンス事業の執行状況を示します。

麻績村では、前回点検にて早期措置段階（健全性Ⅲ）及び緊急措置段階（健全性Ⅳ）となった橋に対し、優先的かつ計画的な対策を着実に行ってきました。

表 4.1　修繕等措置状況一覧

橋梁番号	橋梁名	橋長（m）	全幅員（m）	路線	路下条件	定期点検			
						（前回）		（直近）	
				名称	名称	年度	判定	年度	判定
1	藤瀬橋	20.30	4.60	桑山中央線	麻績川	2017	Ⅲ	2022	Ⅲ
25	麻野19号1号橋	4.20	3.20	麻女19号線	（名称不明）	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
32	麻矢12号1号橋	10.50	2.80	麻矢12号線	室沢川	2017	Ⅲ	2022	Ⅲ
36	麻矢16号1号橋	6.00	4.20	麻矢16号線	室沢川	2017	Ⅲ	2022	Ⅲ
69	麻上7号1号橋	8.00	2.30	麻上7号線	西沢川	2017	Ⅲ	2022	Ⅲ
70	麻上9号1号橋	4.00	1.60	麻上9号線	西沢川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
77	麻上22号1号橋	5.40	2.20	麻上22号線	西沢川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
79	麻市4号1号橋	4.30	3.90	麻市4号線	宮川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
93	日野田沢5号1号橋	3.20	3.00	日野田沢5号線	東沢	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
8	梶浦中央線1号橋	5.20	3.30	梶浦中央線	宮川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ
16	西ノ久保桂線2号橋	6.10	5.50	西ノ久保桂線	桂川	2017	Ⅲ	2023	Ⅱ
45	麻下10号1号橋	5.00	2.75	麻下10号線	吉田川	2016	Ⅲ	2023	Ⅱ
58	麻根8号1号橋	5.00	3.00	麻根8号線	（名称不明）	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ
62	麻下1号1号橋	5.60	4.40	麻下1号線	芦沢川	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ
72	麻下6号1号橋	5.00	2.50	麻下6号線	吉田川	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ
73	麻下18号1号橋	12.50	4.80	麻下18号線	吉田川	2017	Ⅲ	2021	Ⅱ
74	麻上16号1号橋	7.80	2.30	麻上16号線	西沢川	2017	Ⅲ	2022	Ⅱ
84	聖支線56号1号橋	5.10	3.00	聖支線56号線	聖湖	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ
92	麻宮23号1号橋	11.10	5.80	麻宮23号線	宮川	2017	Ⅲ	2022	Ⅱ
112	日桑関7号1号橋	11.10	4.30	日桑関22号線	市後川	2017	Ⅲ	2023	Ⅱ
5	矢倉橋	23.90	6.20	高畑野口線	麻績川	2017	Ⅱ	2022	Ⅱ
118	日下3号1号橋	22.00	2.10	日下3号線	麻績川	2017	Ⅱ	2022	Ⅱ

Ⅱ	2橋	→	12橋
Ⅲ	20橋	→	10橋

措置済み	修繕工事	9橋
	架け替え	2橋
未措置		8橋
判定見直し		3橋

次表に措置実施状況の内訳を示します。

ここで、以下の橋梁については修繕等の措置を行っていませんが、健全度判定がⅢからⅡへと改善しています。

・58　麻根８号１号橋
・62　麻下１号１号橋
・72　麻下６号１号橋

これは、直近の点検において、これまで蓄積した劣化度判定のデータを参考にして健全度判定の見直しを行った結果であり、それに加えて劣化の進行状況も考慮して判定を行ってきました。このため、緊急措置は不要となり、経過観察による管理を行うものとしました。

表 4.2　修繕等措置状況の詳細一覧

橋梁番号	橋梁名	橋長(m)	全幅員(m)	路線	路下条件	定期点検（前回）		定期点検（直近）		措置状況	
				名称	名称	年度	判定	年度	判定	年度	内容
8	梶浦中央線1号橋	5.20	3.30	梶浦中央線	宮川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ→Ⅱ	2023	補修工事完了予定
16	西ノ久保桂線2号橋	6.10	5.50	西ノ久保桂線	桂川	2017	Ⅲ	2023	Ⅱ	2022	補修工事完了
45	麻下10号1号橋	5.00	2.75	麻下10号線	吉田川	2016	Ⅲ	2023	Ⅱ	2022	補修工事完了
58	麻根8号1号橋	5.00	3.00	麻根8号線	（名称不明）	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ	－	判定の見直し
62	麻下1号1号橋	5.60	4.40	麻下1号線	芦沢川	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ	－	判定の見直し
72	麻下6号1号橋	5.00	2.50	麻下6号線	吉田川	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ	－	判定の見直し
73	麻下18号1号橋	12.50	4.80	麻下18号線	吉田川	2017	Ⅲ	2021	Ⅱ	2020	補修工事完了
74	麻上16号1号橋	7.80	2.30	麻上16号線	西沢川	2017	Ⅲ	2022	Ⅱ	2021	補修工事完了
79	麻市4号1号橋	4.30	3.90	麻市4号線	宮川	2016	Ⅲ	2021	Ⅲ→Ⅱ	2023	補修工事完了予定
84	聖支線56号1号橋	5.10	3.00	聖支線56号線	聖湖	2016	Ⅲ	2021	Ⅱ	2020	補修工事完了
92	麻宮23号1号橋	11.10	5.80	麻宮23号線	宮川	2017	Ⅲ	2022	Ⅱ	2021	補修工事完了
112	日桑関7号1号橋	11.10	4.30	日桑関22号線	市後川	2017	Ⅲ	2023	Ⅱ	2022	補修工事完了
5	矢倉橋	23.90	6.20	高畑野口線	麻績川	2017	Ⅱ	2022	Ⅱ	2021	架け替え
118	日下3号1号橋	22.00	2.10	日下3号線	麻績川	2017	Ⅱ	2022	Ⅱ	2021	架け替え

措置済み	修繕工事	9橋
	架け替え	2橋
判定見直し		3橋

次頁以降に、措置状況の代表事例を示します。

判定区分Ⅲの橋梁の措置事例

橋梁番号 74　麻上 16 号 1 号橋

前回定期点検 （2017 年 7 月 26 日）	措置状況 （2021 年度）
【単純木床版 H 桁橋】 木床版の腐食が著しく、床版の抜け落ち事故へ繋がる恐れがあり、早期措置段階（判定Ⅲ）と判断。	【単純鋼床版 H 桁橋】 木床版を RC 床版（キーストンプレート使用）へ打ち替えると共に、主桁の塗装塗替えを行い、健全性を回復した。また、木部材を長寿命化部材へ置き換えることで、維持管理費の低減を図った。
	⇒ ⇒ ⇒ 

橋梁番号 112　日桑関 7 号 1 号橋

前回定期点検 （2017 年 7 月 25 日）	措置状況 （2022 年度）
【重力式橋台】 重力式橋台の基礎部が流水により洗堀されており、放置すれば橋梁の安定に問題が生じるため、早期措置段階（判定Ⅲ）と判断。	【根継工】 橋台に根継工を設置して、今後の洗堀を抑制した。
	⇒ ⇒ ⇒ 

判定区分Ⅲの橋梁の判定見直し事例

橋梁番号 58　麻根 8 号 1 号橋

前回定期点検　判定区分Ⅲ （2016 年 9 月 16 日）		今回定期点検　判定区分Ⅱ （2021 年 6 月 17 日）
【主桁】 RC 床版橋の主桁部に腐食を伴った鉄筋露出が確認された。鉄筋は腐食により減肉しており、構造安定性に問題があるとして早期措置段階（判定区分Ⅲ）と判断。		確認された鉄筋露出部は局所的であり、前回点検と比べて劣化の進行も軽微であると判断したため、判定区分をⅡへと見直した。
	⇒ ⇒ ⇒	

前回点検　判定区分Ⅱの橋梁の架け替え事例

橋梁番号 5　矢倉橋

前回定期点検 （2017 年 7 月 25 日）		措置状況 （2021 年度竣工）
【2径間鋼 H 桁橋】 健全度の判定区分はⅡであったが、道路改良事業により架け替えとなった。		【単純合成床版橋】 架け替えにより1径間となり、構造もシンプルになったため維持管理性が向上した。
	⇒ ⇒ ⇒	

§5.　対象橋梁の長寿命化とコスト縮減に関する基本的な方針

1)　管理目標の設定

予防保全型管理においては、供用条件や橋梁規模などの社会的重要性に基づくグループ毎に設定する管理水準に基づき、修繕等措置を行います。

これにより、高水準での橋の安全性確保と、維持管理の効率化及び計画的な予算確保による財政負担の軽減を図ります。

下表には、管理目標及びグルーピングの考え方を示します。

表 5.1　管理目標グループ

グループ	重要度	維持管理目標	対象
[a] （予防保全型1）	高	橋梁の長期延命化を目標に、早期措置段階（判定区分Ⅲ）とならないよう、予防保全段階（判定区分Ⅱ）の段階で補修を行う。	2　橋
[b] （予防保全型2）	中	橋梁の延命化を目標に、緊急措置段階（健全性Ⅳ）とならないよう、早期措置段階（判定区分Ⅲ）が軽度な段階で補修を行う。	54　橋
[c] （対症療法型）	低	緊急措置段階（健全性Ⅳ）とならないよう、早期措置段階（判定区分Ⅲ）のある程度の進行を許容しつつも深刻化する前段階で補修を行う。	62　橋
		計	118　橋

表 5.2　グループ分類表

<table>
<tr><td colspan="4">管理橋梁
全 118 橋</td></tr>
<tr><td colspan="3">跨道橋・跨線橋
2 橋</td><td>[a]
2 橋</td></tr>
<tr><td rowspan="5">跨道橋・
跨線橋
以外
116 橋</td><td rowspan="2">迂回路無
24 橋</td><td>橋長　15m 以上</td><td>[b]
12 橋</td></tr>
<tr><td>橋長　15m 未満</td><td>[c]
12 橋</td></tr>
<tr><td rowspan="2">迂回路有
84 橋</td><td>橋長　15m 以上</td><td>[b]
42 橋</td></tr>
<tr><td>橋長　15m 未満</td><td>[c]
42 橋</td></tr>
<tr><td>人道橋
8 橋</td><td></td><td>[c]
8 橋</td></tr>
</table>

※　グルーピング要素に関する条件設定

①　架橋状況による分類	交差条件により跨道橋・跨線橋とそれ以外の橋梁とに分類する。また、その他の橋梁は迂回路の有無や人道橋に更に分類する。
②　橋長	橋長の閾値は、小規模橋梁の定義として用いられる橋長 15m とする。

2) 予防保全型維持管理の実施

「予防保全」とは、予め橋梁の劣化の進行を予測し、損傷が重大となる前に維持補修を行う管理方法です。

これに対し、「対症療法」とは、損傷が重大となってから維持補修を行う管理方法です。

「予防保全型」と「対症療法型」の維持管理体制の違いによる効果を表したイメージ図を示します。

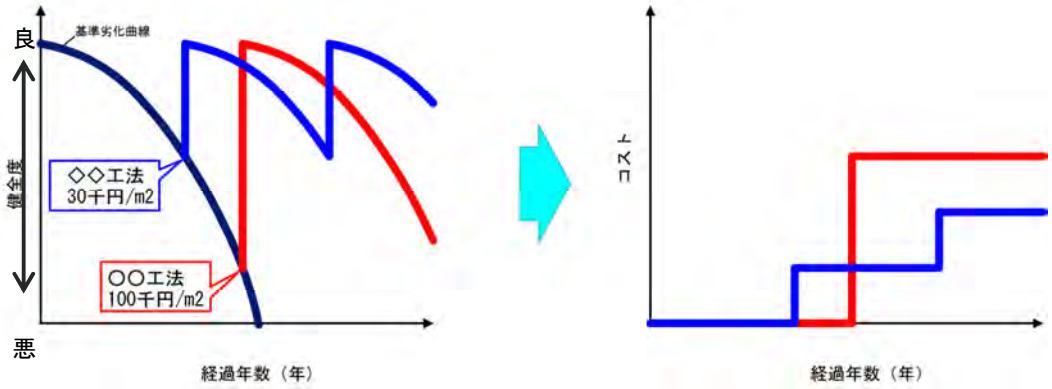


図 5.1 維持管理体制の違いによるコスト縮減イメージ

従来の重大な損傷が生じてから対処する「**対症療法型**」では、大規模な修繕や架け替えが必要となり、工事費用の増大だけでなく、橋梁の寿命が短くなるおそれがあります。また、長期間に及ぶ通行止めが生じることから、道路利用者に与える影響が大きくなります。

これに対し、損傷が軽微な段階で対処する「**予防保全型**」では、損傷の早期発見および補修が可能となるため、工事費の縮減だけでなく、橋梁の長寿命化を図ることができます。

第1期計画と同様、「**予防保全型**」維持管理の考え方を基本としますが、それに加えて橋梁毎の社会的重要性に基づくグルーピングを実施し、グループ毎の重要度に応じた維持管理方針を設けることで、さらなる維持管理費用の縮減を図ります。

3) 優先順位の設定

計画的な修繕・架け替えを行っていくために、対策を行う橋梁の優先順位付けを行います。
順位付けは、橋梁定期点検にて診断した「橋梁の健全度」と、橋の道路条件や環境条件などを考慮した「社会的重要度」から、総合的に判断して決定します。

麻績村は、『傷みの大きな橋』から修繕を行う計画とします。そのなかでも、『集落間連絡道や重要施設への経路上に架かる橋』などといった、架橋条件において重要性が高いと判断した橋から順番に修繕を行う計画としています。

表 5.3 社会的重要度の判定に用いた項目

評価項目	評価区分	備 考
路線種別	村道 1 級	
	2 級	
	その他	
利用頻度	多	
	中	
	少	
橋長	15m 以上	
	15m 未満	
迂回路の有無	無	
	有	
添架物	有	
	無	
地元要望 補修設計済み 補修工事済み	地元要望	・重要施設への経路上に架かるなど、橋の架橋条件を評価した上で、更に地元要望にて判断。 ・設計済みの橋梁は、補修工事の優先度を高くする。 ・補修工事済み及び新橋は、健全度判定Ⅲになるまでは、優先度を低くする。
	補修設計済み	
	補修工事済み、新橋	

4) 緊急補修・架け替えの判断

橋梁定期点検にて、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）と診断された橋梁は、道路利用者の安全性を損なうおそれがあるため、優先的に緊急補修を行います。
ただし、現段階にて著しい劣化が生じている橋は、補修工事による延命化より、架け替えを行うことで将来的な維持管理費の低減が見込める場合があります。特に木橋においては、補修での延命は困難な場合が多いため、架け替えが望ましくなるケースが多いです。
本計画では点検結果に基づいて対策内容の判断を行い、より経済的な修繕計画を目指します。

§6.　長寿命化修繕計画による効果

今後50年間において、橋梁長寿命化修繕計画の策定および施策によるコスト縮減効果は以下のとおりです。

予防保全型の維持管理を行った場合、従来の対症療法型維持管理に比べ、50年後には、4．9億円のコスト縮減効果が見込めます。

《50 年後の効果》

対症療法型	45.0	億円
－ 予防保全型	40.1	億円
効　果	4.9	億円

（約 11%）

※1 効果百分率の計算 =（効果）÷（対症療法型累計）×100

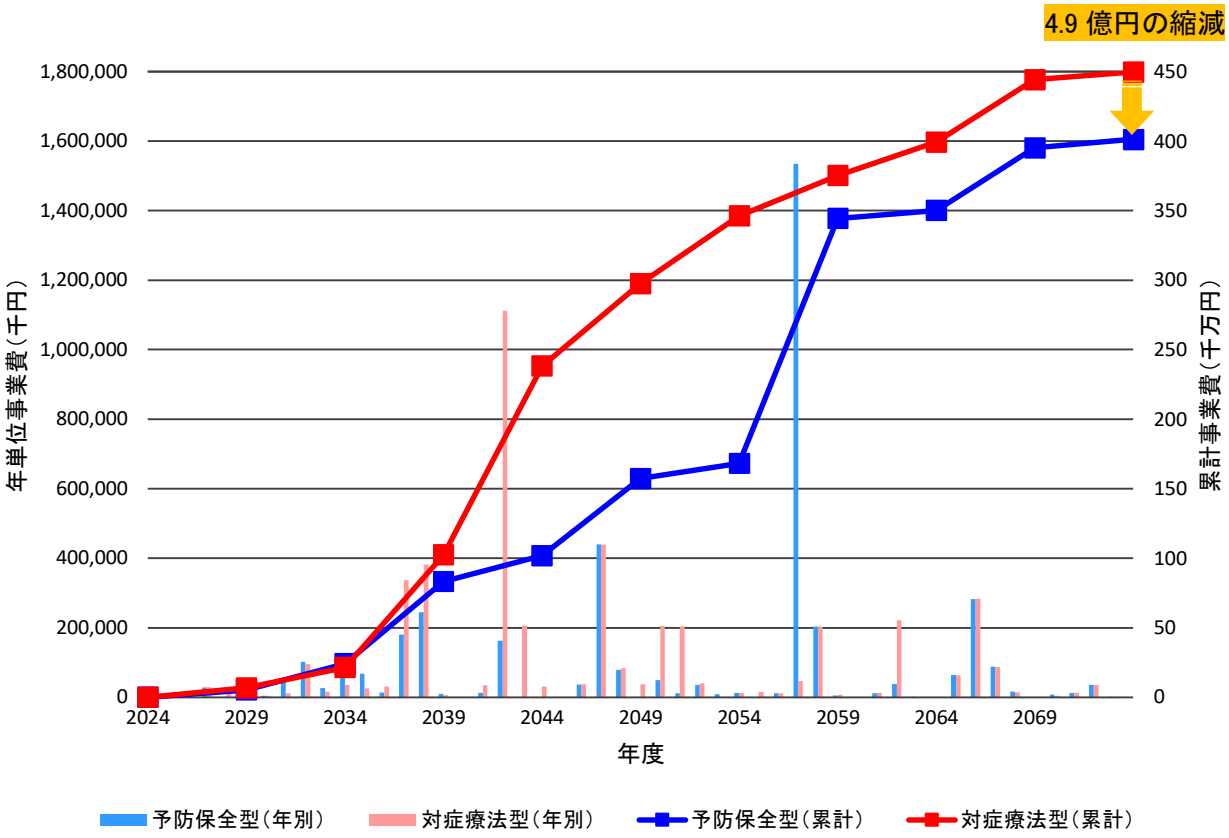


図 6.1　50 年後のコスト縮減効果

§7.　新技術等の活用方針

1)　新技術等の活用に関する考え方

維持管理においては、品質の向上や効率化、コスト縮減を図ることを目的に、積極的に新技術を活用することが推進されています。

そこで、定期点検や詳細調査においては国土交通省 「点検支援技術　性能カタログ」、補修設計及び工事においては NETIS（新技術情報提供システム）に掲載される新技術の活用検討を必須とし、作業の省力化や費用の縮減に努めます。



【ウェブサイト：　https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/】



【ウェブサイト：　https://www.netis.mlit.go.jp/netis/】

2)　短期的な数値目標とコスト縮減目標

麻績村では、点検、修繕、架替、撤去を実施していく全管理橋梁 118 橋に対し、従来技術・従来工法との比較検討を実施しつつ、新技術・新工法の活用検討を実施しました。

短期的な数値目標としては、令和 6 年（2024 年）度から令和 10 年（2028 年）度までの今後 5 年間において、点検・調査事業における点検支援技術の活用、及び設計・工事における新技術・新工法の活用により、橋梁メンテナンス事業の累計試算額 約 72,865 千円のうち、5%に相当する 3,643 千円程度のコスト縮減を目標とします。

表 7.1　麻績村事業計画

年　度	概算工事費 （千円）	縮減目標（5%程度） （千円）
2024 年度（R6）	13,150	660
2025 年度（R7）	7,430	370
2026 年度（R8）	14,878	740
2027 年度（R9）	28,157	1,410
2028 年度（R10）	9,250	463
累　計	72,865	3,643

3) 点検・調査段階における活用への取り組み

点検・調査段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

なお、実際の活用に際しては、点検業務発注後の業務計画にて新技術等活用の有用性について詳細検討を行うものとします。

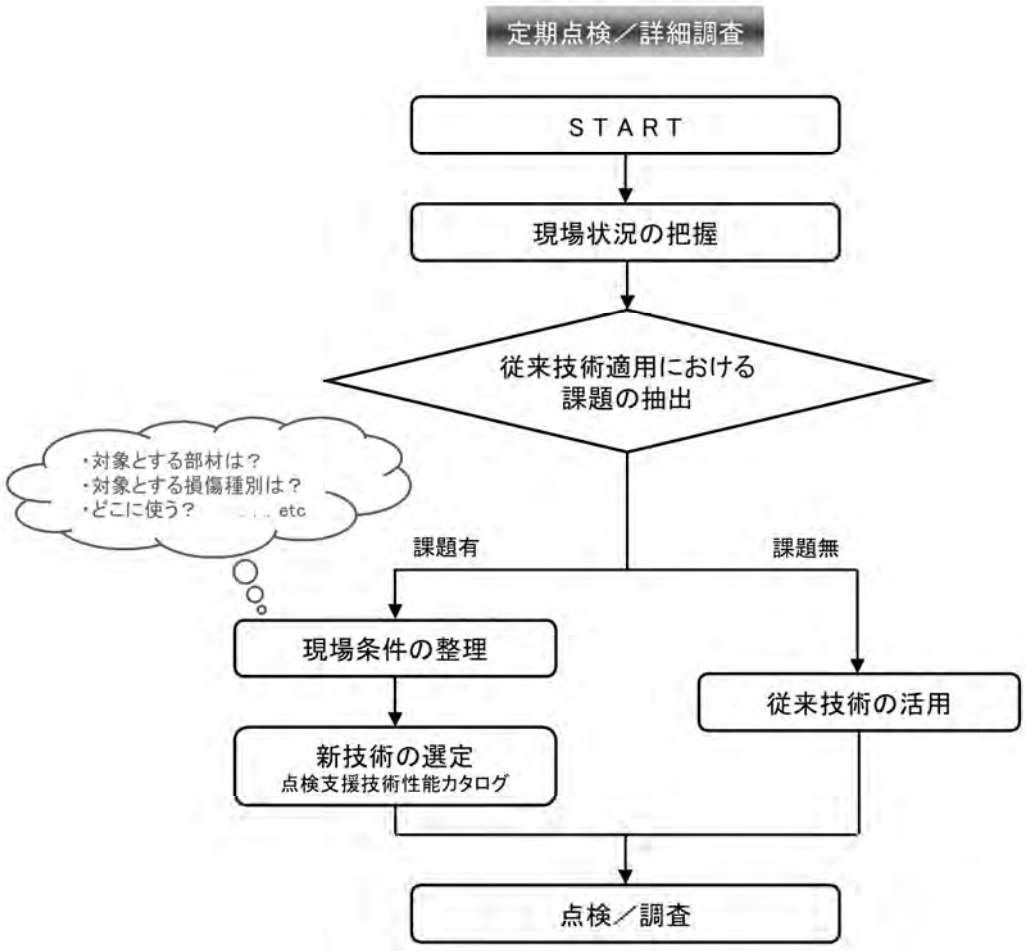


図 7.1 定期点検／詳細調査における新技術等の活用検討フロー

4) 活用が見込まれる技術事例

麻績村で管理する橋梁は、全橋にて従来技術による近接目視が可能となります。このため、新工法・新技術の活用は不経済となるケースが大半となるが、作業の効率化を図る技術を活用することで、作業に要する時間（人工）を縮小することは可能となります。

上記を踏まえ、点検業務における新技術活用が見込まれる代表的な技術事例を以下に示します。

なお、実際の活用に際しては、点検業務発注後の業務計画にて新技術等活用の有用性について詳細検討を行うものとします。

現場状況と課題	新技の活用により、点検および調書作成作業の効率化を図るため
橋種	鋼橋・コンクリート橋
対象部位	上部構造（主桁、横桁、縦桁、床版等）／下部構造（橋脚、橋台）/支承部（支承本体等）/路上（地覆、舗装）／H 型鋼桁橋（上部工）／RC 床版橋（上部工）
変状の種類	ひびわれ／床版ひびわれ
性能カタログ登録	AI 機能付きタブレット端末による点検支援技術（ひびわれ） 技術番号：BR010036－V0123
NETIS 登録	-



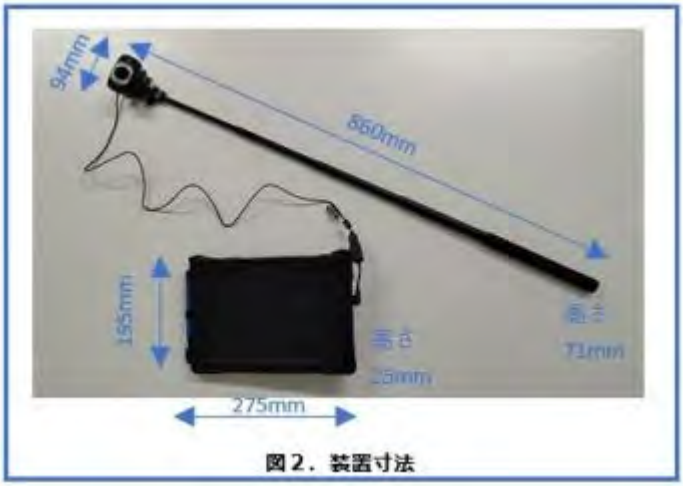


図 7.2 技術事例

表 7.2 活用が見込まれる橋梁

以下を除く全橋梁 116 橋
以下の 2 橋は適用外 ・84 聖支線 56 号 1 号橋（木橋） ・若林橋（長野自動車道に架かる跨道橋であり、点検実施は NEXCO）

5) 設計・工事段階における活用への取り組み

設計・工事段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

なお、選定する新技術・新工法は橋の規模や変状程度に応じ、従来技術・従来工法との比較検討を実施しつつ、橋毎に最適な工法を選定します。

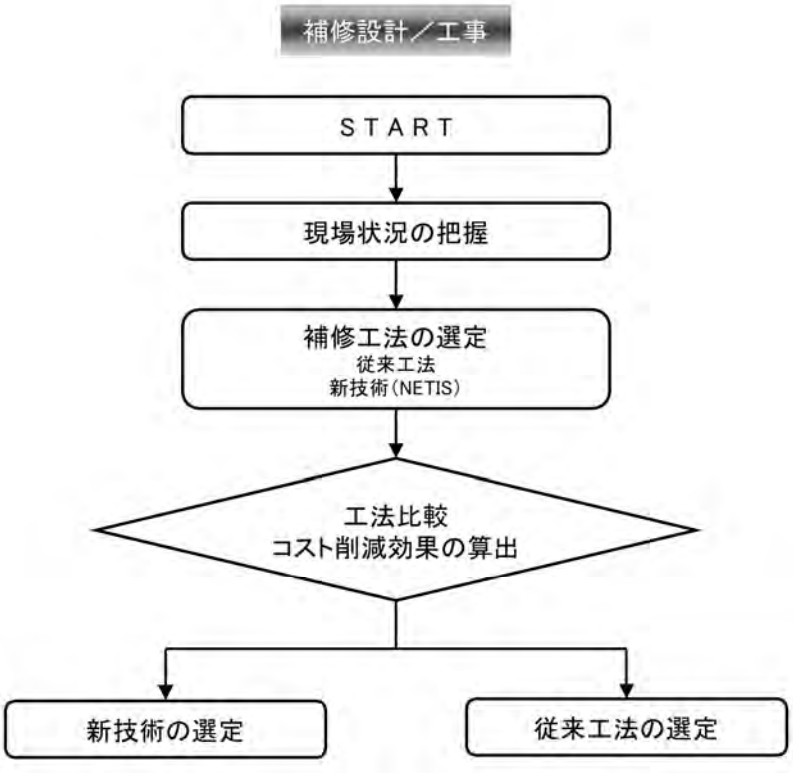


図 7.3 補修設計／工事における新技術等の活用検討フロー

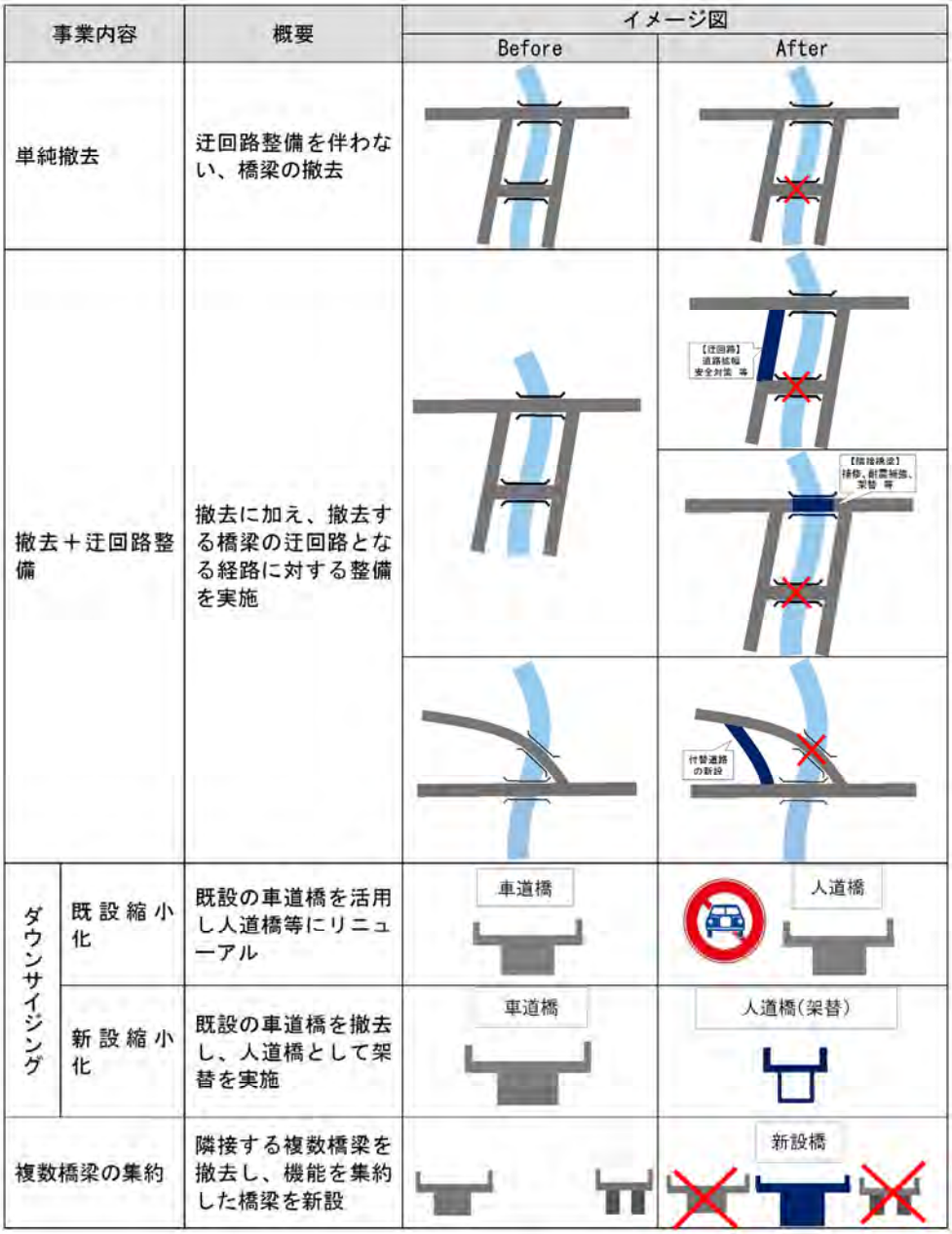
§8.　集約化・撤去、機能縮小に関する方針

1)　背景・目的

将来的に増大が見込まれる老朽化対策費用の財源確保が課題となっている中、対策の一つとして地域の実情や利用状況に応じて集約・撤去を選択肢とすることが、長期的な視点で見た際にはコスト縮減における有効な手段となりえます。

また集約・撤去への取り組みにより、人口減少に伴う担い手不足に起因した管理負担の軽減が見込まれ、最大のメリットといえる「落橋による事故の危険性」の排除による利用者の安全性確保に期待ができます。

そこで、集約化・撤去、機能縮小の対象施設の検討を行っていくものとします。



【出典：道路橋の集約・撤去事例集　R5.4　国土交通省　道路局】

図 8.1　集約・撤去の事業内容

2) 検討フロー

橋の集約・撤去に当たっては、下記フローに基づき検討を行います。

なお事業化に際しては、地域の実情や利用状況の把握を行い、利用者・住民との合意形成を行うことを前提とします。

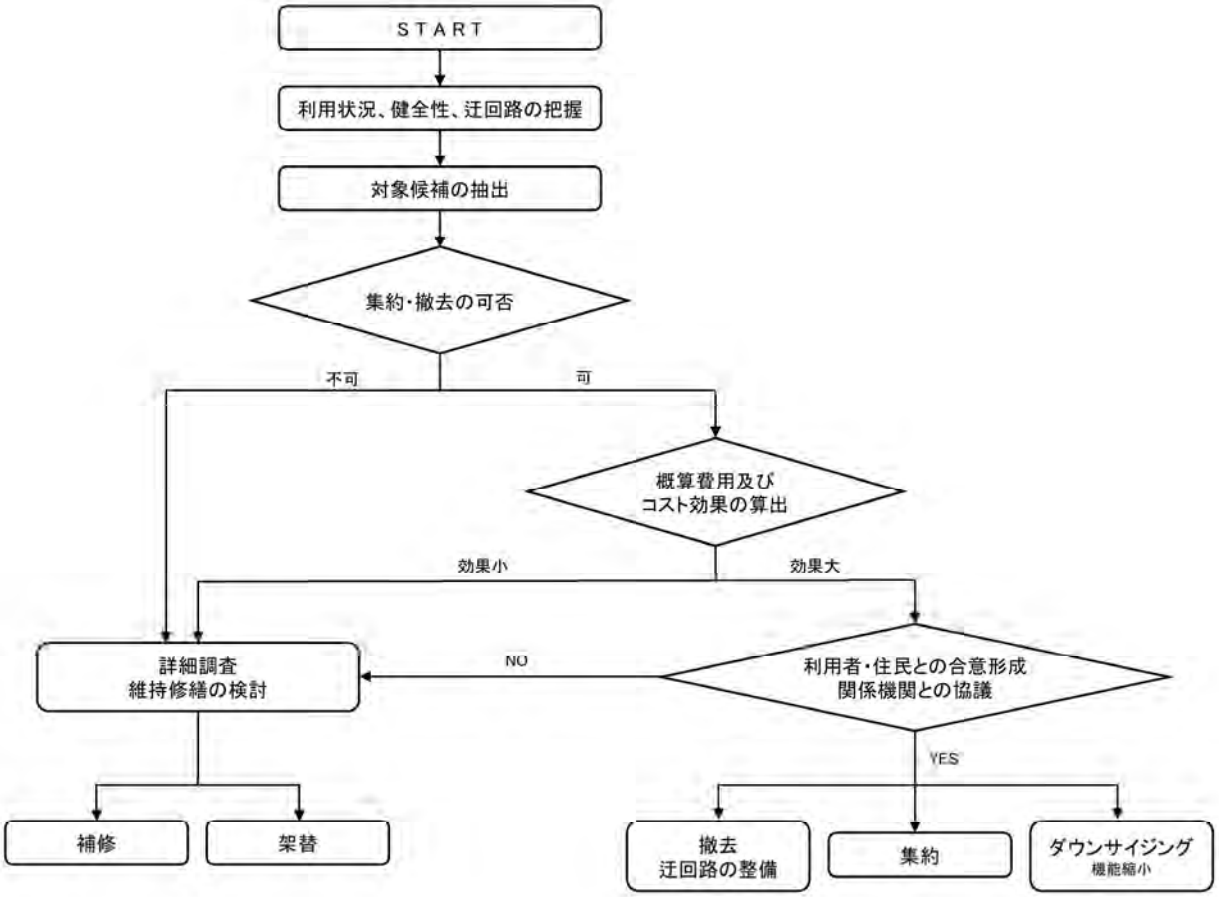


図 8.2 集約化・撤去の検討フロー

3) 短期的な数値目標とコスト縮減目標

麻績村では令和6年（2024年）度から令和15年（2033年）度までの10年間において、利用者・住民との合意形成を図りながら、全管理橋梁118橋のうち5橋について集約化・撤去、機能縮小を行うことを目標とします。

これにより、今後50年間の橋梁メンテナンス管理に係る費用を 19 百万円程度縮減することを目標とします。

表 8.1 集約化・撤去の対象一覧

橋梁番号	橋梁名	将来的なコスト縮減効果
32	麻矢 12 号 1 号橋	1,920 千円
37	麻矢 23 号 1 号橋	4,410 千円
77	麻上 22 号 1 号橋	1,890 千円
93	日野田沢 5 号 1 号橋	2,470 千円
124	長野道側道 2 号 1 号橋	8,420 千円
合計		19,110 千円

§9.　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

※対策内容は計画初年度より直近 5 年分を示します。

※本計画は予定であり、予告なく変更の可能性があります。

※表中の橋梁は、優先順位が高い順に並べています。

健全性の診断区分

Ⅰ判定　（健全）
Ⅱ判定　（予防保全段階）
Ⅲ判定　（早期措置段階）
Ⅳ判定　（緊急措置段階）

凡 例

点検	橋梁定期点検
補修	補修工事の実施

表 9.1　次回点検時期・修繕方法　（1/5）

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	直近点検		対策の内容・時期（年度）				
					実施年度	健全性	2024	2025	2026	2027	2028
					年度別事業費累計（千円）		13, 150	7, 430	15, 393	27, 642	9, 250
32	麻矢12号1号橋	麻矢12号線	10.50	2000	2022	Ⅲ	補修工事 2, 480		点 検 230		
25	麻野19号1号橋	麻女19号線	4.20	1972	2021	Ⅲ	補修工事 830		点 検 207		
69	麻上7号1号橋	麻上7号線	8.00	1962	2022	Ⅲ	補修工事 9, 840		点 検 139		
1	藤瀬橋	桑山中央線	20.30	1991	2022	Ⅲ		補修工事 1, 750		点 検 1, 022	
70	麻上9号1号橋	麻上9号線	4.00	1962	2021	Ⅲ		補修工事 2, 710	点 検 299		
77	麻上22号1号橋	麻上22号線	5.40	1972	2021	Ⅲ		補修工事 2, 970	点 検 207		
93	日野田沢5号1号橋	日野田沢5号線	3.20	1961	2021	Ⅲ			補修工事 1, 890 点 検 207		
36	麻矢16号1号橋	麻矢16号線	6.00	1972	2022	Ⅲ			補修工事 1, 060 点 検 146		
120	若林橋	麻野8号線	33.60	1992	2022	Ⅱ				点 検 4, 900	補修工事 430
81	麻市9号1号橋	麻市9号線	11.20	1991	2022	Ⅱ				点 検 929	補修工事 3, 700
18	桑関野間線1号橋	桑関野間線	7.10	1965	2022	Ⅱ				点 検 844	補修工事 3, 300
12	麻績大橋	下井堀青柳線	26.10	1985	2022	Ⅱ				点 検 1, 153	補修工事 1, 820
22	麻女13号1号橋	麻女13号線	21.40	1963	2022	Ⅱ				点 検 307	
10	北山線1号橋	北山線	2.85	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
15	西ノ久保桂線1号橋	西ノ久保桂線	5.90	1980	2022	Ⅱ				点 検 139	
128	北山2号線	麻北21号線	7.40	1998	2022	Ⅱ				点 検 146	
4	高畑野口線1号橋	高畑野口線	6.50	1972	2022	Ⅱ				点 検 146	
126	下井堀橋	長野道側道12号線	34.10	1989	2022	Ⅱ				点 検 1, 136	
33	麻矢13号1号橋	麻矢13号線	6.10	1972	2022	Ⅱ				点 検 146	
35	麻矢15号1号橋	麻矢15号線	6.00	1972	2022	Ⅱ				点 検 146	

表 9.2 次回点検時期・修繕方法 (2/5)

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	直近点検		対策の内容・時期（年度）				
					実施年度	健全性	2024	2025	2026	2027	2028
					年度別事業費累計(千円)		13,150	7,430	14,878	28,157	9,250
121	川窪橋	麻上24号線	28.70	1990	2022	Ⅱ				点検 1,136	
47	麻砂11号2号橋	麻砂11号線	18.40	1973	2022	Ⅱ				点検 1,005	
43	川原橋	麻明15号線	22.50	1990	2022	Ⅱ				点検 369	
108	宮古橋	麻宮15号線	24.70	1993	2022	Ⅱ				点検 1,102	
131	麻市46号線橋	麻市46号線	9.20	1972	2021	Ⅱ			点検 314		
11	坊平線1号橋	坊平線	3.30	1962	2022	Ⅱ				点検 103	
122	麻野3号1号橋	麻野3号線	7.00	1981	2022	Ⅱ				点検 146	
129	北山3号線	麻北21号線	7.00	1998	2022	Ⅱ				点検 146	
27	矢倉七号橋	麻矢10号線	6.50	1981	2022	Ⅰ				点検 146	
44	麻高4号1号橋	麻高4号線	6.40	1972	2022	Ⅱ				点検 139	
51	麻根14号1号橋	麻根14号線	8.20	1972	2022	Ⅱ				点検 146	
61	日丸15号1号橋	日丸15号線	6.40	1972	2022	Ⅱ				点検 146	
9	市野川円明線1号橋	市野川円明線	3.40	1962	2021	Ⅱ			点検 207		
39	地蔵川原橋	麻高1号線	22.50	1983	2022	Ⅱ				点検 386	
48	如来堂橋	麻砂11号線	25.50	1994	2022	Ⅱ				点検 1,022	
98	日桑山13号1号橋	日桑山13号線	6.10	1962	2022	Ⅱ				点検 146	
46	麻野11の1号橋	麻野11号線	2.90	2000	2022	Ⅱ				点検 96	
56	麻根4号1号橋	麻根4号線	4.60	1972	2021	Ⅱ			点検 207		
76	麻上20号1号橋	麻上20号線	7.80	1962	2022	Ⅱ				点検 146	
13	西ノ久保手取線1号橋	西ノ久保手取線	3.05	2016	2021	Ⅰ			点検 237		
78	麻市1号1号橋	麻市1号線	10.60	1972	2021	Ⅱ			点検 497		
116	坊平大沼線1号橋	坊平大沼線	3.80	1990	2021	Ⅱ			点検 222		
19	麻下60号1号橋	麻下60号線	4.50	1962	2021	Ⅱ			点検 207		
83	麻市19号1号橋	麻市19号線	6.30	2012	2022	Ⅰ				点検 96	
95	日桑山2の1号橋	日桑山2号線	7.40	1996	2022	Ⅱ				点検 146	
6	野口橋	高畑野口線	35.70	2015	2022	Ⅱ				点検 1,170	

表 9.3 次回点検時期・修繕方法 (3/5)

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	直近点検		対策の内容・時期（年度）				
					実施年度	健全性	2024	2025	2026	2027	2028
				年度別事業費累計(千円)			13,150	7,430	14,878	28,157	9,250
20	麻女5号1号橋	麻女5号線	2.20	1962	2021	Ⅱ			点検 207		
52	麻根14号2号橋	麻根14号線	7.70	1972	2022	Ⅱ				点検 153	
23	麻女13号2号橋	麻女13号線	3.50	1972	2021	Ⅱ			点検 207		
64	麻下65号1号橋	麻下65号線	4.00	1972	2021	Ⅱ			点検 207		
65	日丸18号1号橋	日丸18号線	4.50	1972	2022	Ⅱ				点検 103	
5	矢倉橋	高畑野口線	20.40	20.4	2022	Ⅱ				点検 1,119	
8	梶浦中央線1号橋	梶浦中央線	5.20	1962	2021	Ⅱ			点検 299		
50	麻下50号1号橋	麻下50号線	6.70	1972	2022	Ⅰ				点検 146	
63	麻根9号1号橋	麻根9号線	4.80	1972	2021	Ⅰ			点検 207		
94	日桑山1号1号橋	日桑山1号線	5.50	1962	2021	Ⅰ			点検 314		
79	麻市4号1号橋	麻市4号線	4.30	1962	2021	Ⅱ			点検 207		
92	麻宮23号1号橋	麻宮23号線	11.10	1972	2022	Ⅱ				点検 248	
16	西ノ久保桂線2号橋	西ノ久保桂線	6.10	1980	2023	Ⅱ				点検 146	
45	麻下10号1号橋	麻下10号線	5.40	1972	2023	Ⅱ			点検 207		
74	麻上16号1号橋	麻上16号線	7.30	1962	2022	Ⅱ				点検 139	
28	室沢1号橋	麻矢10号線	10.10	1972	2022	Ⅱ				点検 929	
29	室沢2号橋	麻矢10号線	10.00	1972	2022	Ⅱ				点検 906	
49	麻下14号1号橋	麻下14号線	4.50	1981	2022	Ⅱ				点検 103	
30	麻矢10号4号橋	麻矢10号線	5.30	1972	2021	Ⅱ			点検 314		
62	麻下1号1号橋	麻下1号線	5.60	1972	2021	Ⅱ			点検 314		
89	麻北4号1号橋	麻市4号線	5.80	1972	2021	Ⅱ			点検 299		
80	麻市5号1号橋	麻市5号線	5.20	1991	2021	Ⅱ			点検 299		
109	日高23号1号橋	日高23号線	6.60	1981	2022	Ⅱ				点検 139	
130	麻高11号線橋	麻高11号線	21.80	1983	2022	Ⅱ				点検 290	
34	麻矢14号1号橋	麻矢14号線	5.90	1972	2022	Ⅱ				点検 146	
38	麻高1号1号橋	麻高1号線	6.60	1962	2022	Ⅱ				点検 139	
90	麻梶1号1号橋	麻梶1号線	6.20	1972	2022	Ⅱ				点検 139	

表 9.4 次回点検時期・修繕方法 (4/5)

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	直近点検		対策の内容・時期（年度）				
					実施年度	健全性	2024	2025	2026	2027	2028
年度別事業費累計(千円)							13, 150	7, 430	14, 878	28, 157	9, 250
105	麻宮1号1号橋	麻宮1号線	4.60	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		
106	麻宮2号1号橋	麻宮2号線	5.90	1962	2022	Ⅱ				点 検 139	
117	麻仲1号1号橋	麻仲1号線	8.20	1962	2022	Ⅱ				点 検 139	
31	麻矢10号5号橋	麻矢10号線	12.50	1972	2022	Ⅱ				点 検 929	
58	麻根8号1号橋	麻根8号線	5.00	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
59	日丸13号1号橋	日丸13号線	5.80	1972	2022	Ⅱ				点 検 139	
72	麻下6号1号橋	麻下6号線	5.00	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
133	麻坊6の1号橋	麻坊6号線	6.40	1972	2021	Ⅱ			点 検 314		
60	日丸13号2号橋	日丸13号線	5.40	1972	2022	Ⅱ				点 検 139	
82	麻市17号1号橋	麻市17号線	3.80	1962	2021	Ⅱ			点 検 222		
111	日桑関6の1号橋	日桑関21号線	8.70	1972	2022	Ⅱ				点 検 146	
40	麻高2号1号橋	麻高2号線	7.00	1981	2022	Ⅱ				点 検 146	
37	麻矢23号1号橋	麻矢23号線	7.30	1972	2022	Ⅱ				点 検 139	
53	室沢3号橋	麻矢37号線	7.20	1972	2022	Ⅱ				点 検 146	
75	麻上18号1号橋	麻上18号線	5.40	1962	2021	Ⅰ			点 検 299		
54	麻根1号1号橋	麻根1号線	4.20	1972	2022	Ⅱ				点 検 96	
103	麻本11号1号橋	麻本11号線	5.40	1972	2021	Ⅱ			点 検 314		
107	麻宮3号1号橋	麻宮3号線	5.60	1962	2022	Ⅱ				点 検 139	
113	日桑関13号1号橋	日桑関13号線	4.20	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		
119	日桑山16号線橋	日桑山16号線	4.90	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		
125	長野道側道9号1号橋	長野道側道9号線	4.20	1981	2021	Ⅱ			点 検 207		
42	麻明15号1号橋	麻明15号線	3.50	1972	2021	Ⅱ			点 検 222		
55	麻根1号2号線	麻根1号線	3.60	1972	2022	Ⅱ				点 検 96	
71	麻上10号1号橋	麻上10号線	4.70	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
110	日桑関4号1号橋	日桑関4号線	6.70	1972	2022	Ⅱ				点 検 139	
123	長野道側道1号1号橋	長野道側道1号線	7.70	1981	2022	Ⅱ				点 検 146	
41	麻明13号1号橋	麻明13号線	3.90	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		

表 9.5 次回点検時期・修繕方法 (5/5)

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	直近点検		対策の内容・時期（年度）				
					実施年度	健全性	2024	2025	2026	2027	2028
年度別事業費累計(千円)							13, 150	7, 430	14, 878	28, 157	9, 250
66	日丸23号1号橋	日丸23号線	2.70	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
87	麻市26号1号橋	麻市26号線	4.80	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		
97	日桑山9号1号橋	日桑山9号線	4.60	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
99	日桑山21号1号橋	日桑山21号線	6.40	1972	2022	Ⅱ				点 検 139	
100	日桑山23号1号橋	日桑山23号線	3.10	1962	2021	Ⅱ			点 検 207		
104	日小東1号1号橋	日小東1号線	6.40	1981	2022	Ⅱ				点 検 139	
114	日桑関14号1号橋	日桑関14号線	12.00	1972	2022	Ⅱ				点 検 230	
124	長野道側道2号1号橋	長野道側道2号線	8.20	1981	2022	Ⅱ				点 検 146	
127	日桑山43号1号橋	日桑山43号線	6.40	1981	2022	Ⅱ				点 検 139	
132	日桑関16の1号橋	日桑関16号線	4.10	1972	2021	Ⅱ			点 検 222		
134	麻根22号1号橋	麻根22号線	4.60	1972	2021	Ⅱ			点 検 207		
135	日丸21号線橋	日丸21号線	5.30	1972	2021	Ⅱ			点 検 299		
67	日上15号1号橋	日上15号線	4.65	1972	2021	Ⅰ			点 検 207		
101	日桑山30号1号橋	日桑山30号線	4.20	1962	2021	Ⅰ			点 検 207		
112	日桑関7号1号橋	日桑関22号線	11.10	1972	2023	Ⅱ				点 検 230	
84	聖支線56号1号橋	聖支線56号線	5.10	2001	2021	Ⅱ			点 検 299		
118	日下3号1号橋	日下3号線	21.20	1980	2022	Ⅱ				点 検 290	
73	麻下18号1号橋	麻下18号線	12.50	1972	2021	Ⅱ			点 検 533		